

おおの 社協だより

第218号

企画・編集・発行

社会福祉法人
大野市社会福祉協議会
大野市ボランティアセンター
大野市共同募金委員会

大野市天神町1-19

☎65-8773

印刷・(株)松浦印刷所

地域での取り組みを支援します



蕨生区 (善導寺副住職の講話・大野市消防職員による救命入門コース)



新町区 (ラジオ体操を楽しむ会)



新河原区 (正月用寄せ植え講習会)



～小地域支え合い支援事業の 実施地区を募集～

1地区上限3万円

「小地域支え合い支援事業」とは、福祉委員会を中心に、区長や地域の関係者が連携して、地域の生活・福祉課題の解決に向けて取り組む活動を支援する事業です。

この事業は、平成30年度から市内の全地区を対象に実施しています。

原則として1地区あたり3万円を上限に助成を受けることができるので、地域をよくする取り組みをお考えの福祉委員は、お気軽にお問い合わせください。



上丁区 (正月用生け花会)



この社協だよりは赤い羽根共同募金の配分金を活用して発行しています。

令和3年度 事業計画 大野市社会福祉協議会

去る、3月26日、大野有終会館「結とぴあ」において大野市社会福祉協議会の評議員会が開催され、本年度の事業計画及び収支予算が決められました。以下、概要をお知らせします。



基本方針

現在、わが国では少子高齢・人口減少社会を迎え、地域コミュニティの脆弱化、災害の増加、貧困や孤立問題が深刻化しています。また、令和2年に入り新型コロナウイルス感染症が全国に拡大したことで、生活のあり様が大きく変わり、ますます「支え合い・助け合い」等、地域福祉の重要性が再認識されているところです。

このような状況の中、本年度は、本協議会の活動指針となる「第五次地域福祉活動計画(5か年計画)」の1年目にあたり、その基本理念である「結の心でつながる福祉のまち」の実現のため、着実な計画推進を第一義に考え、地域住民や行政、関係機関・団体との強力な連携と協働のもと、「地域の福祉力」が確立されるよう次のところに力点を置いて各事

業に取り組みます。

地域福祉事業においては、第四次地域福祉活動計画の評価課題であった子どもの頃からのボランティア体験を通した福祉教育の推進、雪かき等を含めたボランティアニーズ調査によるボランティアマッチング機能の強化、身近な地域での支え合い・助け合い活動をさらに推進するほか、市民一人ひとりがその人らしく安心して生活することができるよう、生活あんしんセンター「結はあと」による適切な権利擁護の推進に努めていきます。

介護保険事業等においては、利用者の権利と人格を尊重し、本人の自立支援に資する質の高い介護サービスを提供します。また事業関係者と連携を密にし、新規利用者の増加を図ります。

重点目標

1 地域で支え合いと助け合いの地域福祉活動の推進

- 高齢者の生活支援体制の整備を推進するため、住民や高齢者に関する団体、行政、生活支援コーディネーター等が参画する協議体(第1層、第2層)を運営し、地域での支え合いの体制づくりに向けた意見交換のほか、情報の共有及び連携の強化を図ります。
- 地域での生活・福祉課題の解決に向けて、地域の関係者の連携を進めます。

2 福祉教育の推進とボランティア活動の強化

- 小さい頃から、ボランティア体験を通して地域のさまざまな人と関わりを持ち、思いやりの心や助け合う意識を育めるよう福祉教育を推進します。
- 市民のボランティアニーズ調査を実施し、ボランティアマッチング機能の向上を図ります。

3 権利擁護や生活支援サービスの充実

- 法人後見事業では、制度普及啓発や相談活動を行うとともに、判断能力が不十分な方に対する福祉サービスの利用援助や日常の金銭管理を行う日常生活自立支援事業と連携し、セーフティネットの一翼を担います。

4 介護保険事業等の経営安定化とサービスの質の向上

- 利用者やその家族から信頼され選ばれるサービスをめざし、質の向上を図るとともに、経営状況について検討・分析を行い、健全な経営の維持に努めます。

令和3年度 重点事業

○子どもを中心に地域で取り組む福祉推進事業

子どもが中心となり、学校・地域住民・関係機関が一緒にプログラムを企画・実施し、福祉教育を通して地域福祉の推進を図ります。



○ボランティア意識の醸成

中学生・高校生の頃からボランティアに参加する機会を提供し、若年からのボランティア意識を醸成します。

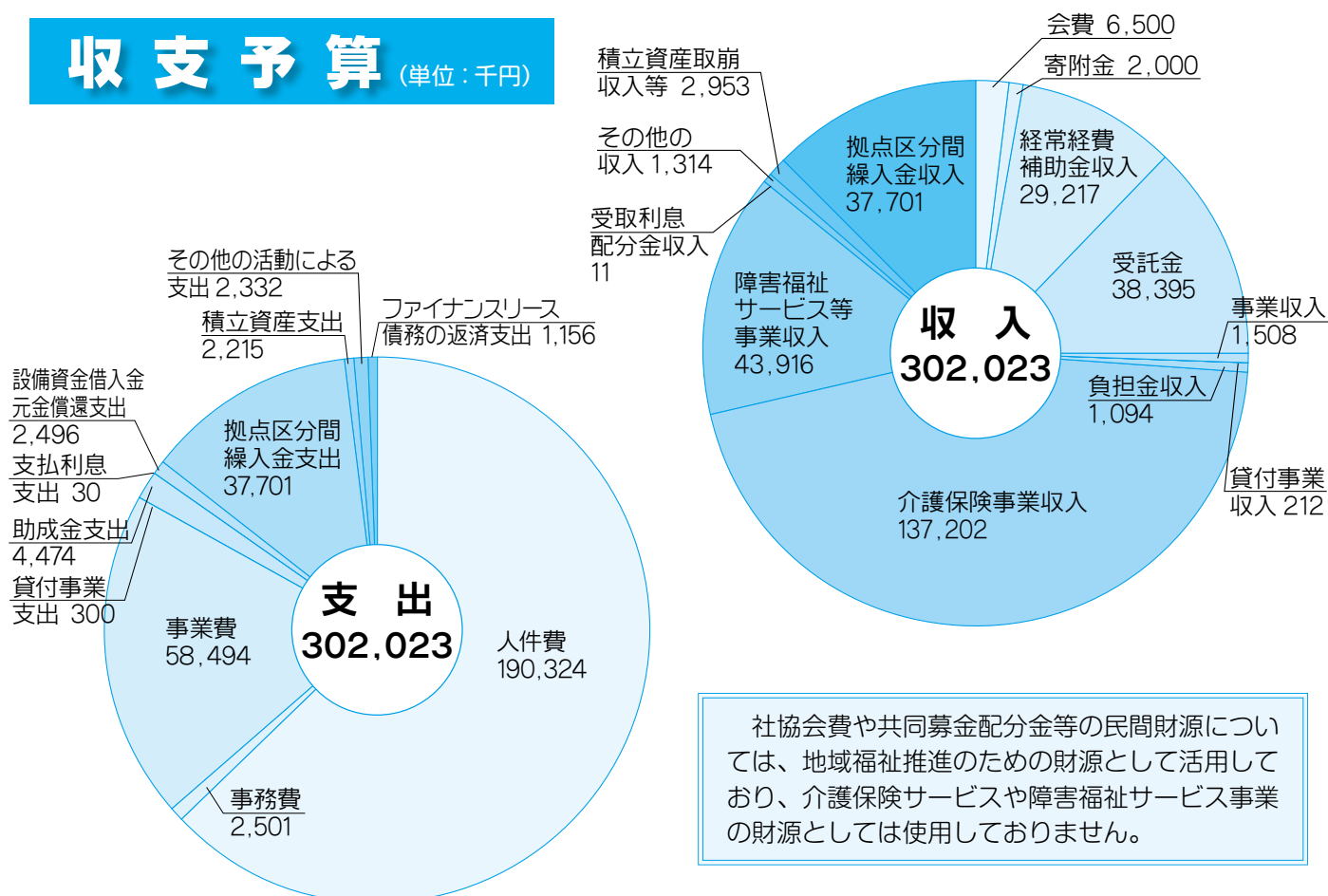
○ボランティアマッチング機能の強化

ボランティアニーズを把握し、適切なボランティアマッチングを行い、ボランティアセンター機能を強化します。

(ボランティアマッチングとは、ボランティアを必要とする側と活動をする側の調整を図ることです。)



収支予算 (単位:千円)



社協会費や共同募金配分金等の民間財源については、地域福祉推進のための財源として活用しており、介護保険サービスや障害福祉サービス事業の財源としては使用しておりません。

令和2年度 大野市共同募金助成事業 福祉教育推進事業



皆さまからいただいた募金は、地域を良くするための活動の貴重な財源となっています。その活動のひとつ「福祉教育推進事業」は、市内の全小中学校に福祉学習費用の助成を行ったり、福祉体験教室を実施しています。多くの活動の中から、乾側小学校で行われた活動の一部をご紹介します。



乾側小学校

◀手作りカードのプレゼント

- 1・2年生が地区の敬老会に参加して、日頃のありがとつ言葉を添えたメッセージカードを贈りました。
- 今年はコロナ禍で毎年「ビバーラ大野」で行われるクリスマス会に参加できなかった代わりに、クリスマスカードを贈りました。

お餅を地区の全戸に配布▶

学校田で収穫した餅米で作った餅にメッセージカードを添えて、地域での見守りに対する感謝の気持ちを伝えました。



◀ふれあい集会

保護者や地域の方を招待し、「乾側人と出会う旅」の学習成果を発表しました。

また、低・中・高学年に分かれてふれあいゲームのブースを出店し、地域の方と交流しました。

ほかにも、

「見守り隊感謝のつどい」見守り活動をしてくださった方々を招待してお礼を伝えました。

「ピカピカ大作戦」お世話になった旧蔵生小校舎に感謝の気持ちを込めて、丁寧に掃除をしました。

乾側小学校は、令和2年度末をもって閉校となりました。児童・保護者・学校関係者・地域の皆さまに、これまで多くのご協力をいただき、深く感謝を申し上げます。

地域でふれあいサロンを始めませんか ～立ち上げをお手伝いします～

『ふれあいサロン』とは、高齢者が住み慣れた地域でいきいきと過ごすための「交流の場」です。人とふれあい、楽しい時間を過ごすことにより、生きがいがづくりや介護予防につながっています。

大野市社会福祉協議会では、本年度開始の新規サロンを募集しています。関心のある地区(休止中の地区も含みます。)は、お気軽にお問い合わせください。

大野市社会福祉協議会 65-8773



国時団地サロンでハーバリウム作り

大野市障害者社会参加支援事業

音訳ボランティア 麻耶の会 活動見学(体験)会

*音訳ボランティアとは、視覚障がいのため情報取得に困難のある方へ「声」で情報をつたえるボランティアです。

*麻耶の会では、「広報おおの」「市議会だより」「社協だより」などを音訳し、利用者にお届けしています。

音訳に興味はあるけど、自分にできるか分からない…
実際の活動の様子や雰囲気を知りたい…



講座を受講する前にぜひ一度、見学してみませんか？

市民の方であればどなたでもお気軽にお申込みください。

日時 令和3年6月29日(火)
令和3年7月28日(水)
午後1時30分～午後3時00分

どちらか1日・両日
どちらでも見学可能です

会場 ボランティアセンター(結とびあ2階)

対象 音訳活動に興味・関心のある方
音訳ボランティアとして活動してみたい方



その他 見学ご希望の方は、それぞれの見学日の前日までに
下記へお問い合わせください。

【申込先・問い合わせ】 大野市社会福祉協議会 TEL:65-8773

貸し出します

車いす

(通院や旅行などに)

ゲームなどの備品

(かるた、輪投げ、ボーリングなど)



事前に申請が必要となりますので、
ご利用の際はご連絡ください。

○お問い合わせ先・申込先

大野市社会福祉協議会
65-8773



歳末たすけあい募金
配分金を活用した
事業を紹介します

紙オムツの費用を
半額助成します



在宅の障がい者などが使
用する紙おむつを、一人1
か月当たり90枚を限度に、
費用の半額を助成します。

○対象者

(1) 身体障がい者手帳の
等級が1級または2級程度
の方
(2) 療育手帳に表示され
た障がいの程度がA程度の
方

申請の手続きが必要とな
りますので、まずは問い
合わせください。

○お問い合わせ先・申込先

大野市社会福祉協議会
65-8773



社協会費ご協力をお願い

『結の心でつながる福祉のまち』を目指して

大野市社会福祉協議会は、『結の心でつながる福祉のまち』を目指し、支え合いと助け合いの思い満ちた福祉のまちづくりに取り組んでいます。

この取り組みを進めるにあたっては、皆さまのご協力による会費を貴重な財源として活用させていただいています。

本年度もご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

各地区社協・福祉委員の活動支援



福祉ふれあいまつりの開催



高齢者ふれあいサロンの開催



- 大野市社会福祉大会の開催
- ボランティア活動の推進
- 一人暮らし・二人暮らし高齢者、障がい者世帯などの安否確認
- 社協だよりやホームページなどによる福祉情報の発信
- 福祉サービスの利用援助や法人後見の取り組みなど

社協会費の種別

①一般会費(世帯)

自治会(行政区)を通じて各世帯にお願いしています。

1世帯 500円

②賛助会費(企業・個人事業所など)

社協活動に賛同くださる事業所などへお願いしています。

1口 1,000円

賛助会費について

昨年度はコロナ禍のため、口座振替での納入をお願いしたところ、多くのご協力をいただきありがとうございました。本年度の実施方法につきましては、改めてお知らせいたしますので、よろしくお願いいたします。



無 料 相 談 業 務 の ご 案 内

法律相談

土地・住宅・財産など法律上の問題に弁護士が応じます。

(毎月第2・第4木曜日 午後1時～4時)

※法律相談は予約制をとっていますので、事前に電話での申し込みをお願いします。

(会場) 大野有終会館「結とぴあ」

心配ごと相談

日常生活の中で悩みごとや心配ごとに関心相談員が応じます。

※心配ごと相談の予約は不要です。

(第2・第4木曜日 午前9時～正午)

(会場) 大野有終会館「結とぴあ」205号室

電話福祉相談

福祉やボランティアに関する相談に社協職員が応じます。

(電話) 65-8773

(お問い合わせ先)

大野市社会福祉協議会

天神町1-19

(電話) 65-8773

秘密は厳守

お気軽にご相談



福井県社会福祉協議会からのお知らせ

休業や失業で働けず、生活資金にお困りの方へ

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、休業や失業等により生活費に困っている世帯に生活資金をお貸します。

※緊急小口資金および総合支援資金の貸付終了となった方には総合支援資金の再貸付を実施

[生活福祉資金貸付制度]

緊急小口資金

緊急かつ一時的な生計維持のための生活費をお貸します。

支援の対象者

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、休業等により収入の減少があり、生活費に困っている世帯

支援の内容

【貸付限度額】

- ・20万円以内(一世帯1回限り)(世帯の中に、新型コロナウイルスの罹患患者、子どもの臨時休校で仕事を休んだ人、個人事業主、要介護者がいる世帯。また、世帯の人数が多い(4人以上)世帯、ほか特に資金の需要が認められる世帯)
- ・10万円以内(一世帯1回限り)(上記以外の世帯)

【据置期間】1年以内(借りてから1年間返さなくてもかまいません)

【償還期限】2年以内(据置期間経過後2年以内に返さなければなりません)

※無利子です ※保証人はいりません

お問合せ先

お住まいの市町の社会福祉協議会にお問い合わせください。

詳しくは [福井県社会福祉協議会](#) [生活福祉資金](#) [検索](#)

総合支援資金

生活の立て直しまでの一定期間(3か月)の生活費をお貸します。

支援の対象者

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入の減少や失業等により生活に困窮し、日常生活の維持が困難になっている世帯

支援の内容

【貸付限度額】

- ・二人以上の世帯 月20万円以内
- ・単身世帯 月15万円以内

原則3か月まで借りることができます。

※緊急小口資金および総合支援資金の貸付終了となった方を対象に、総合支援資金の再貸付(最大60万円)を実施

【据置期間】1年以内(借りてから1年間返さなくてもかまいません)

【償還期限】10年以内(据置期間経過後10年以内に返さなければなりません)

※無利子です ※保証人はいりません

受付期間が延長になりました **令和3年6月30日まで**

生活困窮者支援窓口を設置しています。

生活の困りごとや不安を、窓口の支援員が聞かせていただきます。どのような支援が必要かを一緒に考え、解決に向けた支援をさせていただきます。

「家賃が払えない」「家計のやりくりが困っている」「仕事が見つからない」「社会に出るのがこわい」

など、ひとりで抱え込まずに、まずはお困りごとをお聞かせください。ご家族や周りの方からのご相談でも受付させていただきます。

詳しくは [福井県](#) [生活困窮](#) [検索](#)

【制度に関するお問合せ】

生活福祉資金について
生活困窮について

相談コールセンター

福井県健康福祉部 地域福祉課

TEL.0120-46-1999

TEL.0776-20-0326

【申請・相談窓口】

※HPでご確認ください

生活福祉資金について
生活困窮について

お住まいの市町の社会福祉協議会

お住まいの市町を担当する生活困窮者自立相談支援機関



やさしくあなたがかいあなたの善意
 心よりお礼を申し上げます
ありがとうございました
 (順不同・敬称略)

◆社会福祉事業寄付金◆
 (3月19日、4月22日受付分)

谷口 ひろ子 100,000円
 ソシオエステイション
 坂下 えい子 2,000円
 匿名 12,000円

◆物品寄付◆

吉田 博和 テープ型オムツ2袋
 尿取りパット 2袋他
 (株)タイナム 信頼の森
 福井大野店 食料品 一式

匿名 プラスチックバケツ 2個

匿名 プラスチックタライ 4個

◆エコキャップ・リングプル・古切手◆
 (3月1日、4月26日受付分)

山崎 興作
 山崎 美智子
 廣瀬 ナカモリ
 山本 幸
 細沢 月楓
 細沢 来生
 細沢 権史
 細沢 栄央
 立川 正剛
 立川 正真
 立川 由彩
 大倉 清嗣
 小嶋 ふさの
 高尾 あき子
 八二一 新鮮館
 乾 匡 大野インター

石原 きよみ
 林 明美
 松山 恵子
 (株)加藤左官工業
 (株)鴻池組
 花房 文子
 大石 敏彦
 高橋 照二
 川端 輝美
 高宮 真館
 芳扇会
 あすか・さやか
 前田電気(株)
 中村 幸子
 稲田 富美子
 源内 酒店
 山下 晃澄
 山本 幸子
 西川 香織
 清水 八重子
 陽寿さくらサロン
 有終南小学校
 嵐谷 建具店
 高田 育代
 小山 佳代子
 中川 加寿子
 開成 中学校
 本多 道代
 絵手紙 ひよっこくらぶ
 原 ひなた・ひより・旭
 上庄 小学校
 天満サロン
 大野市消防本部
 林 裕子
 松田 つや子
 中村 ふみ子
 小林 恵美子
 福井県自然保護センター
 (株)宮本国文堂
 高尾 高義
 中村 麗子
 東中野区
 宮下 多津子

音訳ボランティア麻那の会
 日本観光公社
 村上 哉翔
 村上 愛晃
 村上 夢晃
 伊織建築(株)
 田中 みち子
 和歌 和男
 大野市
 グラウンドゴルフ協会
 松井 恵夫
 平瀬 東洋子
 山下 真理子
 佐々木 信次郎
 大野市市民生活課
 内田 文子
 中矢 順子
 萩原 勢子
 藤丸 智美
 大野 明美
 清水 左官(株)
 中村 さよ子
 野村 京子
 アスピカホール大野
 ヒロデン 廣野 宏和
 高橋 恵美子
 あつたかホームさくら
 (株)かじ惣
 松葉 祐佳
 春日一丁目上区
 つくしサロン
 東 政江
 歸山 夏實
 三光産業(株)
 角屋 明美
 松田病院キフキラの里
 川上 美智子
 大野市教委教育総務課
 小池 博子
 明石 信子
 辻 和子
 前田 房子
 松本 智恵美
 河本 章雄
 中森 一美
 中森 富士江
 東大月自治会
 伊藤 節子
 しがらみ最勝寺
 大野市福祉事務所

ビュート(理・美容)
 高畑 勝利
 伊藤 義幸
 川田 友子
 広岡クリニク
 辻 和美
 奥島 順子
 前田 久伊
 関西大野会(八田)
 春日一丁目上区
 小山愛育会
 水上 勇一
 (株)南部酒造場
 松山 利典
 寺尾 勤
 寺尾 幸代
 安川 峰子
 三屋 明美
 山川 明美
 (株)河原酢造
 幅田 浩世
 港屋
 (株)フクイヤ
 三谷 寛治
 石本 美奈子
 北野 廣美
 永見 典子
 皆藤 しずえ
 中休宮農組合
 カレテック大野(株)
 松田 和香那
 牧野 美雪
 コメタ珈琲店
 エステティックスタジオ
 大野インター店
 VIVA
 関西大野会 伊藤 輝夫
 伊藤 弘子
 中日新聞・日刊県民福井
 大野販売所
 佐々木 滋夫
 手話サークル名水
 (株)生田設備
 大野市税務課
 牧野 華苗
 谷口 絹子
 上野 法子
 (株)マルハン大野店
 京福バス旅行センター
 垣崎 聡枝

JA福井県大野南支店
 中津川 前田酒店
 中津川 中川 和子
 グループボテッチ
 明石 ゆき子
 中川 コリコ
 中川 八重子
 越田 和子
 松山 さとみ
 (株)西川建築設計事務所
 林 桜菜
 安川 光男
 福井新聞大野中央店
 石倉 静江
 山川 しげ子
 篠座こども園
 亀山湯
 (株)久保工務店
 一品料理 長谷川
 土本 愿
 吉川 和子
 富田 オチエ
 ソシオエステイション
 坂下 えい子
 ハンドマッサージかがやき

エコキャップ・リングプル・古切手の回収にご協力ありがとうございました。
 皆さまから寄せていただいたエコキャップは、令和2年度において1265.5キログラム/553.615個になりました。集められたエコキャップは、「認定NPO法人」世界の子どもにワクチンを日本委員会」を通じて開発途上国へのワクチン支援、ワクチン接種の重要性を伝える啓発活動等に使われています。また、リングプルは、令和2年度において310キログラム/19,300円

エコキャップ・リングプル・古切手は、リサイクル業者に売却し、売却益を地域福祉推進活動に役立たせていただいています。

古切手は令和2年度において197件あり、「NPO法人」誕生日ありがとう運動本部」によりオリジナルグッズに再利用され、障がい者福祉の啓発活動等に使われています。

これからも、皆さまのご協力をお願いします。

ベットサロンはなうた
 あかね保育園保護者会
 石本 厚子
 森永 智子
 山下 真里子
 (株)伊藤文具店
 ステックリング
 笑来クラブ
 中川 しず子
 山崎 豊子
 窪土 次男
 杉本 あい子
 川端 安子
 柳原 みよ子
 村下 修一
 市川 幸代
 齊藤 八郎
 山本 武夫
 三橋 静枝
 匿名 十一名

次回発行(第219号)は9月1日の予定です。